

住 宅 課

1 高齢者住宅管理 予算科目（款・項・目）15・05・15〔決算書181ページ〕

民間の住宅を市が借り上げ、市内に3年以上居住し、住宅に困窮する低所得の単身高齢者（65歳以上）のために住宅を提供し、生活の安定を図るもの

(1) 高齢者住宅シルバーピアの概要 （単位：戸）

契約期間年度	住宅名	管理戸数	入居戸数
			3月31日
令和3年度～令和8年度	シルバーピア深大寺	10	10
平成24年度～令和4年度	シルバーピア柴崎	18	17
平成24年度～令和14年度	シルバーピアせせらぎ	13	12
合 計		41	39

(2) 高齢者住宅使用料の収納状況 （単位：円）

種別		平成30年度	令和元年度	令和2年度
調定額		5,727,043	5,108,077	5,582,912
収入済額		5,703,740	5,104,961	5,582,912
未済額	現年度分	23,303	3,116	0
	過年度分	0	0	0
	合計	23,303	3,116	0

(3) 新規入居者 （単位：人）

住宅名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
シルバーピア深大寺	1	1	1
シルバーピア柴崎	1	3	2
シルバーピアせせらぎ	1	4	1
合 計	3	8	4

※ 募集は、高齢者支援室が実施

2 市営住宅管理 予算科目（款・項・目）40・20・05〔決算書309ページ〕

市内に6箇月以上居住し、住宅に困窮する低所得者のために住宅を提供し、生活の安定を図るもの

(1) 市営住宅の概要 （単位：戸）

建設年度	住 宅 名	管理戸数	入居戸数
			3月31日
昭和56年度	富士見第1市営住宅	41	38
57年度	八雲台市営住宅	34	33
58年度	深大寺市営住宅	30	28
平成元年度	富士見第2市営住宅	48	44
4年度	山野市営住宅	24	22
16年度	下石原市営住宅	32	29
19年度	調中前市営住宅	40	35

合 計	249	229
-----	-----	-----

※ 入居戸数には、罹災者世帯1戸を含む。

(2) 市営住宅使用料及び市営住宅駐車場使用料の収納状況 (単位：円)

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
調定額	88,012,281	88,539,724	88,919,047	
収入済額	87,708,581	87,938,024	87,989,787	
未済額	現年度分	303,700	601,700	929,260
	過年度分	0	0	0
	合計	303,700	601,700	929,260

(3) 市営住宅の維持保全

一般財団法人調布市市民サービス公社に維持保全業務委託を行い、維持保全業務の効率的運用による経費縮減に努めるとともに、市営住宅の本体及び附帯施設の適切な維持管理を図るもの

(4) 市営住宅入居者の募集

年度	募集月	募集戸数 (戸)	申込件数 (件)	倍率 (倍)
平成30年度	平成30年6月	3	32	10.66
	平成30年12月	3	40	13.33
	平成31年2月	4	52	13.00
令和元年度	令和元年6月	4	20	5.00
	令和元年12月	3	49	16.33
令和2年度	令和2年7月	4	64	16.00
	令和2年12月	8	45	5.63

※ 申込件数は、無資格者の申込みを除いた件数

(5) 都営住宅地元割当分入居者の募集

年度	募集月	募集戸数 (戸)	申込件数 (件)	倍率 (倍)
平成30年度	平成30年11月	3	34	11.33
令和元年度	令和元年11月	2	33	16.50
令和2年度	令和2年11月	3	50	16.67

※ 申込件数は、無資格者の申込みを除いた件数

(6) 都営シルバーピア地元割当分入居者の募集

年度	募集月	募集戸数 (戸)	申込件数 (件)	倍率 (倍)
平成30年度	募集なし			
令和元年度	募集なし			
令和2年度	募集なし			

※ 申込件数は、無資格者の申込みを除いた件数

(7) 都営住宅及び都民住宅等の募集事務

市町村における東京都の事務処理の特例に関する条例に基づき、都営住宅及び都民住宅等の募集に係る案内配布等の事務を行うもの

内容	種類	配布部数 (部)
----	----	----------

平成30年度 募集案内の配布	都営住宅	4,409
	地域有料賃貸住宅及び特別公共賃貸住宅	219
令和元年度 募集案内の配布	都営住宅	8,440
	地域有料賃貸住宅及び特別公共賃貸住宅	600
令和2年度 募集案内の配布	都営住宅	7,400
	地域有料賃貸住宅及び特別公共賃貸住宅	700

3 住宅対策事業 予算科目（款・項・目）40・20・05〔決算書309～311ページ〕

(1) 分譲マンション適正管理支援事業

ア 分譲マンション管理組合勉強会の開催

東京都マンション管理士会と連携し、マンションの大規模修繕工事に関するセミナー及び無料相談会を開催し、分譲マンションの適正管理に向けた支援を行うもの

令和2年度については、新型コロナウイルスの影響に伴い実施取止め

イ 分譲マンション管理アドバイザー派遣事業（平成27年度開始）

分譲マンションを適正に維持管理するために、分譲マンションの所有者で構成している管理組合等に対して、無料で専門家を派遣することにより、分譲マンションの維持管理等に関する総合的な指導・助言を行い、維持管理等に関する意識の啓発を図るもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
申請（件）	3	0	3

(2) 分譲マンション耐震化促進事業

ア 分譲マンション個別訪問事業（3年目）

平成30年度から令和2年度までの3箇年事業として、昭和56年の建築基準法改正より前の確認に基づき建築された分譲マンションを個別訪問することにより、市の助成制度等に係る普及啓発及び管理組合等の主体的な耐震化への取組の意識付けを図るもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
訪問（件）	15	9	3

イ 分譲マンション耐震アドバイザー派遣事業（平成26年度開始）

昭和56年の建築基準法改正より前の確認に基づき建築された分譲マンションの管理組合等に対して、無料で専門家を派遣することにより、分譲マンションの耐震化に関する総合的な指導・助言を行い、耐震化に関する意識の啓発を図るもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
申請（件）	6	5	0

ウ 分譲マンション耐震化促進事業助成金

昭和56年の建築基準法改正より前の確認に基づき建築された分譲マンションの管理組合等に対して、耐震診断、補強設計及び耐震改修に係る費用の一部を助成することにより、分譲マンションを生活基盤とする市民の安全に対する意識の啓発を図るとともに、安全・安心で災害に強い良質な住環境づくりを促進するもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
耐震診断 交付（件）	0	0	4

	交付金額（円）	0	0	4,000,000
補強設計	交付（件）	0	1	0
	交付金額（円）	0	2,000,000	0
耐震改修	交付（件）	0	0	1
	交付金額（円）	0	0	12,000,000
合計（円）		0	2,000,000	16,000,000

(3) 木造住宅耐震化促進事業

ア 木造住宅戸別訪問事業（平成29年度開始）

平成29年度から令和2年度までの4箇年事業として、昭和56年の建築基準法改正より前の確認に基づき建築された木造住宅を戸別訪問することにより、市の助成制度等に係る普及啓発及び所有者の主体的な耐震化への取組の意識付けを図るもの

種別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
訪問（件）	2,662	2,622	2,379	2,518

イ 木造住宅耐震アドバイザー派遣事業（平成26年度開始）

昭和56年の建築基準法改正より前の確認に基づき建築された木造住宅を所有している所有者に対して、無料で専門家を派遣し、木造住宅の耐震化に関する相談体制及び情報提供の充実を図り、もって災害に強いまちづくりに資するもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
申請（件）	53	47	45

ウ 木造住宅耐震化促進事業助成金

昭和56年の建築基準法改正より前の確認に基づき建築された木造住宅を所有している市民に対して、耐震診断及び耐震改修工事の費用の一部を助成することにより、市民の日常的な防災意識の高揚を図り、地震発生時に市民の生命を守るため、安全・安心で災害に強い良好な住環境作りを促進するもの

種別		平成30年度	令和元年度	令和2年度
耐震診断	交付（件）	16	12	20
	交付金額（円）	2,356,000	1,703,000	2,988,000
耐震改修	交付（件）	4	16	10
	交付金額（円）	2,300,000	12,302,000	8,000,000
合計（円）		4,656,000	14,005,000	10,988,000

(4) 倒壊ブロック塀等撤去費助成金

大阪北部地震を教訓に、災害に強いまちの実現に向け、ブロック塀の倒壊に伴う事故を未然に防止するため、撤去費の助成を令和元年度までの時限措置として建築指導課で実施、さらに1年延長し、令和2年度は住宅課で引き継いだ。

教育委員会と協力して小学校指定通学路沿いのブロック塀の状況確認及びチラシ配布等を行い、児童の通学状況の確認を行った。

令和2年度の申請件数は14件（内取下げ1件）であった。

(5) よりよい住まいづくり応援制度

ア バリアフリー適応住宅改修補助

高齢化社会への対応を目的とした個人住宅等の改修工事を実施する際、その工事費用の一部を補助することにより、安全で快適な居住環境の整備を図るもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付（件）	71	93	78
交付金額（円）	6,652,000	8,552,000	7,121,000

イ 太陽光発電設備等補助

居住環境の向上，環境負荷の低減などを目的とした個人住宅等の改修工事を実施する際，その工事費用の一部を補助することにより，環境に配慮した快適な居住環境の整備を図るもの

種別		平成30年度	令和元年度	令和2年度
太陽光発電設備 取付け等	交付（件）	33	65	68
	交付金額（円）	2,893,000	5,532,000	5,995,000
太陽熱利用機器 取付け等	交付（件）	1	0	0
	交付金額（円）	32,000	0	0
合計	交付（件）	34	65	68
	交付金額（円）	2,925,000	5,532,000	5,995,000

ウ 地球温暖化対策住宅用機器購入費補助

地球温暖化の防止に資する住宅用機器を設置した人に対し，その費用の一部を補助することにより，環境負荷の低減を図るもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付（件）	209	152	159
交付金額（円）	8,360,000	6,080,000	6,360,000

エ 住まいの相談窓口週間の実施（平成28年度開始）

隔月で，「分譲マンション管理相談」「木造住宅耐震化相談」「住宅リフォーム相談」の3種類に係る相談窓口を開設し，分譲マンション管理の支援，木造住宅耐震化の促進及び住環境改善の促進を図るもの

内容	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
分譲マンション管理相談（件）	0	0	1	1	0	2	4
木造住宅耐震化相談（件）	0	0	3	0	1	0	4
住宅リフォーム相談（件）	0	2	1	3	1	3	10

(6) 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業（平成23年度開始）

震災時に救急・救命活動や緊急支援物資の輸送などの緊急輸送道路としての機能を確保するため，特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進事業（補強設計及び耐震改修等）に係る費用の一部を補助することにより，災害に強い街づくりを推進するもの

種別		平成23～29 年度の合計	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	合計
耐震診断	交付（件）	62	—	—	—	62
	交付金額 （千円）	133,649	—	—	—	133,649
補強設計	交付（件）	16	0	2	0	18
	交付金額 （千円）	27,097	0	4,317	0	31,414
耐震改修	交付（件）	8	0	1	2	11

	交付金額 (千円)	118,773	0	5,195	303,509	427,477
建替え 及び 除却	交付(件)	9	1	1	0	11
	交付金額 (千円)	318,754	28,419	48,109	0	395,282
交付金額計(千円)		598,273	28,419	57,621	303,509	987,822

※1 補助対象建築物数 71棟 3路線(甲州街道31棟, 三鷹通り34棟, 品川通り
の一部6棟)

※2 耐震診断補助金交付事業については, 平成28年度で終了した。

(7) マンションの建替えの円滑化等に関する法律に基づく事務手続(平成24年度開始)

ア 認可等事務

マンションの建替えの円滑化等に関する法律に基づき, マンション建替えに係る認可等の
事務手続を行うもの (単位: 件)

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
マンション建替組合設立認可	0	0	0
マンション建替組合の定款の 変更認可	1	0	0
マンション建替組合の事業計 画の変更認可	1	0	0
マンション建替組合理事長の 氏名等の届出	0	0	0
マンション建替組合理事長の 氏名等の変更届出	0	0	0
権利変換計画の認可	1	0	0
施行再建マンションの団地管 理規約の認可	0	0	0
マンション建替組合解散認可	0	0	0

イ 印鑑登録事務

調布市マンション建替事業に係る証明事務規則に基づき, マンション建替組合等の印鑑を
登録し, 使用印登録原票を備えるもの

(ア) 印鑑登録数 (単位: 件)

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
建替組合	0	0	0
理事長	0	0	0
合計	0	0	0

(イ) 事務処理件数 (単位: 件)

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録申請	0	0	0
変更届出	0	0	0
廃止申請	0	0	0
亡失申請	0	0	0
職権抹消	0	0	0
合計	0	0	0

ウ 証明発行事務

調布市マンション建替事業に係る証明事務規則に基づき, マンション建替事業に係る税制

上の特例措置に関する証明及びマンション建替組合に関する証明の発行事務を行うもの

(ア) 税制上の特例措置に関する証明 (単位：件)

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
優良住宅地の造成等のための土地の譲渡	1	0	0
権利変換手続開始の登記	1	0	0
区分所有権等の取得の登記	0	0	0
権利変換後の土地に関する登記	1	0	0
合計	3	0	0

(イ) マンション建替組合に関する証明 (単位：件)

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
使用印登録証明	6	3	0
合計	6	3	0

(8) 調布市居住支援協議会

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（住宅セーフティネット法）に基づき、不動産関係団体及び居住支援団体等と連携し、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に関し必要な措置について協議するもの

ア 会員構成

不動産関係団体（4団体）、居住支援団体（4団体）、調布市子ども生活部、同福祉健康部及び同都市整備部をもって組織。また、学識経験者をオブザーバーとして配置した。

イ 開催内容

回	開催日	協議検討事項等
第1回	令和2年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・調布市居住支援協議会の概要及び活動内容について ・平成31年度調布市住まいぬくもり相談室実施報告について ・調布市居住支援協議会会則の変更（案）について ※ コロナウイルスの影響により書面開催
第2回	令和2年8月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅確保給付金及び緊急小口資金の特例貸付等について ・住まいぬくもり支援制度の申請方法の変更等について ・令和2年度調布市居住支援協議会予定表（案）について ・第3回調布市居住支援セミナーの開催（案）について ・住まいぬくもり支援制度の拡充（案）について
第3回	令和2年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいぬくもり支援制度の拡充について ・第3回調布市居住支援セミナーの開催について ・文京区居住支援セミナー参加について ・住宅確保要配慮者の入居の現状と課題について ・住まいぬくもり相談室における課題について
第4回	令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度調布市居住支援セミナー結果報告について ・住まいぬくもり相談室相談票様式の変更について ・調布市住宅マスタープランについて ・精神障害者の入居の現状と課題について

ウ 住まいぬくもり相談室事業の実施（平成29年度開始）

事業期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

相談実施件数 102件（相談枠144枠）成約率25%

物件照会数 206件（うち、協力不動産店等による成約件数16件、協力不動産店以外

による成約件数9件)

エ 民間賃貸住宅仲介支援助成（平成29年度開始）

市内の民間賃貸住宅へ転居する際に、不動産事業者等に支払う仲介手数料について助成するもの（上限額6万4千円）

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付（件）	5	5	4
交付金額（円）	248,600	243,500	195,100

オ 民間賃貸住宅家賃等債務保証支援助成（平成29年度開始）

市内の民間賃貸住宅への転居に際し、保証人がいないことにより住宅の確保が困難となっている場合に、民間保証会社等を利用した際の保証料について助成するもの（上限額3万2千円）

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付（件）	4	4	3
交付金額（円）	100,000	99,900	62,200

(9) 空き家等対策

適切に管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことを鑑み、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、あわせて空き家等の活用を促進するため「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき対策を進めるもの

ア 「調布市空き家等対策推進協議会」の開催・運営

令和元年8月に設置した空き家等対策推進協議会について、4回にわたり開催し、調布市の状況を把握・共有、基礎データに基づいた課題整理と施策案を検討し、調布市空き家等対策計画の素案作成を進めた。

回	開催日	協議検討事項等
第1回	令和2年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の趣旨説明 ・スケジュールと活動内容について ・ワンストップ相談窓口（案）について ・空き家等対策事業の予定
第2回	令和2年10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口事業の連携可能性について ・LINE公式アカウント連携事業について ・空き家実態調査の速報及び課題研究の進捗状況 ・空き家等対策啓発事業の今後の予定について
第3回	令和3年1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家実態調査の中間報告について ・共同住宅の空き家及び空き室の把握手法検討 ・啓発事業等の実施状況報告
第4回	令和3年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口の検討 ・空き家実態調査結果の最終報告について ・共同住宅の空き室等実態把握調査結果及び中間支援組織の検討報告について ・調布市の取組について

イ 都市整備対策協議会連絡調整会議（空き家等対策）

横断的な実施体制の構築及び各部署との情報共有を目的に、平成30年度に引き続き開催した。

回	開催日	議題等
---	-----	-----

第1回	令和2年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の苦情，相談対応について ・緊急安全措置について ・特定空き家等認定基準の策定について
第2回	令和2年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の苦情・相談における庁内問合せ先の変更について ・緊急安全措置の事例について

ウ 情報提供

- (ア) 調布市ホームページに空き家等対策の情報（イベント・セミナー等）を掲載した。
- (イ) 調布市空き家LINE公式アカウント「スマイのミライ教えてナビ！」の制作と公開。
- (ウ) 空き家エリアリノベーション事業冊子「空き家とまちのつながり」の発行及び配架を実施した。

エ 危険な空き家への対応のための庁内体制等の検討

管理不全が原因で周囲に著しい悪影響を及ぼす危険な空き家に対し，災害時などの緊急時に適切かつ迅速な対策を講じ，地域の安全性を確保するため，庁内の関係部局と連携した実施体制の構築，条例（案）策定，パブリックコメントを実施した。

- (ア) 空き家等問い合わせ対応のフロー図及び各部所管課における役割表を作成・周知した。
- (イ) 連携体制構築のため，空き家等施策の業務体系図を作成・周知した。
- (ウ) 空き家等対応連絡票を改定・周知した。
- (エ) 情報管理方法・システム化を検討した。

オ 官民連携による取組

- (ア) 空き家流通促進モデル構築委員会

回	開催日	議題等
第1回	令和2年6月11日	今年度事業概要の共有等
第2回	令和2年8月25日	アンケート活用の取組，事業モデル案の検討等
第3回	令和3年3月29日	事業の総括

- (イ) SNSを活用した空き家予備軍の可視化プロジェクト

LINE株式会社，ソーシャルデータバンク株式会社と連携し，「空き家の未然予防」・「相談推進」を図る新たなプラットフォームの構築を目指し，空き家予備軍への関心喚起と住民意識の啓発を目的に，調布市空き家LINE公式アカウント「スマイのミライ教えてナビ！」を制作・公開。運用面では，市民参加型構築プロジェクトとして実施した。

本事業は，昨年度に引き続き，令和2年度東京都「先駆的空き家対策東京モデル支援事業」に採択された。

- (ウ) まちのつながりプロジェクト（空き家エリアリノベーション事業）

調布市の空き家等施策を「予防」という観点から考案するに当たり，特定エリア（富士見町）を想定した，利活用とコミュニティ推進の観点から，空き家発生の抑制を試みるプロジェクトを推進した。

本事業を実施するにあたり，「まちづくりプロデューサー」を2人任命。共立女子大学建築計画研究室（高橋大輔教授）と市内在住の建築家菅原大輔氏との連携により地域住民の皆さんと対話をしながら推進するエリアリノベーション事業を展開・実施した。

令和2年度は地域の環境調査とエリアビジョン策定を目標に，トークイベントやワークショップを開催。地域の空き家利活用の可能性について取り組んだ。

本事業は，令和2年度東京都「エリアリノベーション推進支援事業」として採択され，

令和2年度からの3箇年事業として実施されます。

(エ) 調布市空き家×SDGs

空き家等施策を「予防」という観点から考案するに当たり、「空き家をまちの資源に変える」発想で、様々な官民連携事業を展開しています。住まいと人、住まいとまち、地域コミュニティの関係性が転換期にある今、空き家を単なる社会問題として捉えるのではなく、パートナーシップで考える資源として、SDGsの目標9、11、17に設定したテーマの事業を実施しました。

未来を担う若者も含めた多世代に渡る課題共有の一環として、SDGsの取組に積極的な市内私立学校と連携した啓発事業を実施した。（晃華学園中学校高等学校）

カ 啓発事業

開催日	概要
令和2年7月28日	件名：「空き家・相続・不動産 無料相談会」 内容：協議会委員のNPO法人の協力により、空き家相談、不動産の問題を抱える方を対象にした無料相談会を実施した。 場所：調布市教育会館 参加者数：9人
令和2年10月11日	件名：調布市空き家エリアリノベーション事業「スタートアップ記念トークイベント」 内容：市内で実施する空き家エリアリノベーション事業の推進における「まちづくりプロデューサー」の任命式と基調講演、トーク対談を実施した。 場所：オンライン配信 参加者数：70人
令和2年11月7・8日	件名：「調布市空き家っカソン」（空き家×SDGs） 内容：市内NPO法人ちょうふ子どもネットと連携し、「空き家をリソースにしたまちづくり」をテーマにアイデアソン（ワークショップ）を実施した。 場所：市民プラザあくろす 参加者数：49人
令和2年11月14日 令和2年12月5日、20日	件名：「将来の住まいについて考えるセミナー」 内容：調布市空き家流通促進モデル構築事業で連携する多摩信用金庫と京王電鉄株式会社と共同で開催。 第1回（もしもの時、自宅をどうする？） 第2回（自宅を有効活用するためのマネープラン） 第3回（所有不動産を円滑に引き継ぐ） 場所：文化会館たづくり、市民プラザあくろす 参加者数：46人
令和2年11月29日 令和2年12月26日 令和3年1月31日 令和3年2月28日	件名：まちのつながりプロジェクト 「講演&トークセッション」 内容：空き家エリアリノベーション事業として実施するトークイベント。毎月地域住民の皆さんとの対話型イベントとして、企画・実施した。 場所：富士見地域福祉センター、覚證寺、FUJIMI LOUNGE 参加者数：125人

令和2年12月19日	<p>件名：「つくって！あわせて！空想マンション」</p> <p>内容：エリアリノベーション事業で連携する共立女子大学と連携した子供向けワークショップ。楽しみながら、家やまちへの関心を高める目的で実施した参加型イベントとして開催した。</p> <p>場所：石原小学校</p> <p>参加者数：30人※ コロナ禍により材料配布のみに変更実施</p>
令和3年2月6日	<p>件名：「普及啓発プラン完成披露会（晃華学園）」</p> <p>内容：SDGs11プロジェクトとして、「同世代への共感」「スマイのミライ」をテーマに、中高生の皆さんと半年に渡り、普及啓発プランの作成に取り組んだ成果披露会を実施した。</p> <p>場所：晃華学園「マリアンホール」</p> <p>参加者数：25人※ コロナ対策として収録配信に変更実施。</p>
令和3年3月7日	<p>件名：生前相続&相続した実家・空き家対策オンラインセミナー&個別相談会</p> <p>内容：調布市が公募した6事業者で実施する空き家ワンストップ相談窓口」の啓発事業として、ミサワホーム株式会社及び三井住友信託銀行株式会社と連携実施した。</p> <p>場所：オンライン配信</p> <p>参加者数：15人</p>
令和3年3月27・28日	<p>件名：「調布市空き家っカソン」（空き家×SDGs）</p> <p>内容：事業連携するLINE株式会社及びソーシャルデータバンク株式会社と共同実施。「ソーシャルメディアに求められる機能とは？」をテーマに、アイデアソンとプログラミングのワークショップを実施した。</p> <p>場所：石原小学校</p> <p>参加者数：33人</p>

キ 空き家相談への対応

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受付（件）	76	88	77

ク 空き家の譲渡所得の特別控除に必要な確認書の発行（平成28年度開始）

空き家の発生を抑制するため、特例措置として実施されている譲渡所得の特別控除を受けの際に必要な確認書を発行するもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受付（件）	42	47	29

(10) 空き家実態調査

平成27年度以来、2回目となる市内全域の空き家実態を把握する外観目視の悉皆調査。

ア 空家数 690棟（平成27年度より19.8%増加）平成27年度576棟。

イ 特定空き家 195棟※上記空家数に含む。（平成27年度より約4倍増加）平成27年度44棟。

(11) 住宅修築相談

市民からの住宅の増築，改築，改装，修繕，附帯工事等に関する相談に対して，市と協定している調布住まいの相談センターを紹介し，施工者が対応を行うもの

種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受付（件）	12	12	7

4 市営住宅対策

予算科目(款・項・目) 40・20・05 [決算書311ページ]

(1) 調布市市営住宅長寿命化計画に基づく改修事業

住宅に困窮する世帯に対する住宅セーフティネットを構築するとともに、既存の市営住宅を有効に活用して、安全・安心で快適な住まいを長期にわたって確保するため、予防保全的な観点からの修繕や改善の計画により、長期的な維持保全の実現、長寿命化による管理・更新コストの削減及び事業量の平準化を図るもの

ア 基本理念 安全・安心に住み続けるための公営住宅ストックの適切な維持

イ 計画期間 令和2年度から令和11年度まで

ウ 令和2年度改善事業

富士見第2市営住宅雑排水管及び脱衣所床改修工事

支出額合計 18,595,643円

工事実施戸数 36戸

工事請負業者 調布管工土木事業協同組合及び調布市建設業協同組合

工事概要 老朽化した住戸内脱衣所床下の雑排水管の改修及び脱衣所床の改修